

事業所名

キャンディランド（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

4 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち中心の子育て支援「長い目で見た子どもの幸せを追求しよう」 笑顔と愛とありがとうが溢れる場所に 子どももママも職員も幸せに 											
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 自分らしく生き抜くために、人への信頼感を持ち、自己肯定感を育めるよう支援を行います。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行います。 基本的な生活スキルの獲得し、健康状態の維持、改善、生活習慣や生活リズムの形成を行います。 											
営業時間		平日	13	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	
		土曜日・長期休み	10	時	00	分から	17	時	00	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時や送迎時の子どもたちの様子を把握し、共有します。 身だしなみ・持ち物の整理や管理が自分で出来るよう支援します。 身の周りを清潔にし、生活に必要な基本的技能を身につけられるように支援します。（生活面については、家庭との連携を図り支援を行います。） 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で、集中して学習に取り組めるよう環境を整えます。 視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような運動あそびや体操プログラムを設定します。（具体的なプログラム→鉄棒、トランポリン、フラフープ、縄跳び、球技、プレイランド、ビジョントレーニング、感覚統合遊びなど） 感覚の特性、過敏・鈍麻へ対応し、感覚あそびを行います。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 様々なルールや決められた時間を意識すると共に、達成できたことを褒め、自己効力感や自己肯定感を育みます。 情報を聞き、行動へつなげる等の活動を行います。 認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できる遊びを行います。（認知の偏り等の個々の特性に配慮） 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事や物、体験などの言い回しや言葉の意味を結びつける等、言語の習得や語彙が増えるよう支援します。 少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援します。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での困りごと・人間関係のトラブルの振り返りや、ソーシャルスキルトレーニングを行います。 小集団の中で、活動に参加するための手順やルールが理解できるよう支援します。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 当日の様子をサービス提供記録や送迎時に保護者へ報告し、相談援助を行います。 子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に生かし、関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していきます。 						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 中学に向けての情報提供や支援を行います。 具体的な移行を想定し、保護者の意向確認や状況共有を行います。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、小学校、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していきます。 						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の研修は月に1回行い、自治体が行っている研修や民間の行っている研修に参加する機会を設け、職員が子供への適切な支援のための学びをする環境を設定します。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 夏まつり、クリスマス会、季節に合った遠足、参観など 											

事業所名

キャンディランド（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

4 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち中心の子育て支援「長い目で見た子どもの幸せを追求しよう」 笑顔と愛とありがとうが溢れる場所に 子どももママも職員も幸せに 							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 自分らしく生き抜くために、人への信頼感を持ち、自己肯定感を育めるよう支援を行います。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行います。 基本的な生活スキルの獲得し、健康状態の維持、改善、生活習慣や生活リズムの形成を行います。 							
営業時間		平日	9 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有します。 衣服の着脱・持ち物の整理を自分でできるように支援します。 身の周りを清潔にし、排泄等の生活に必要な基本的技能を身につけられるように支援します。（生活面については、家庭との連携を図り支援を行います。） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような運動あそびを設定します。（具体的なプログラム・鉄棒、トランポリン、フラフープ、縄跳び、リトミック、プレイランド、ビジョントレーニング、感覚統合遊びなど） 感覚の特性、過敏・鈍麻へ対応し、感覚あそびを行います。 音楽リズムあそびでは、自分の身体をイメージできるよう支援します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵本などでお話の世界を楽しみ、季節や文化を感じられるような遊びを行います。 情報を聞いて、行動へつなげるというゲームや遊びを行います。 認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できる遊びを行います。（認知の偏り等の個々の特性に配慮） 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 関わりあそび・体験活動を通し、具体的な事、物や、体験と言葉の意味を結びつける等、体験的に言語の習得や語彙が増えるよう支援します。 少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 大人を介在して、気持ちの情動の調整ができるよう支援します。 小集団の中で、集団に参加するための手順やルールが理解できるよう支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 当日の様子をサービス提供記録や送迎時に保護者へ報告し、相談援助を行います。 子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に生かし、関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していきます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての情報提供や支援を行います。 具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、幼稚園や保育所、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していきます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の研修は月に1回行い、自治体が行っている研修や民間の行っている研修に参加する機会を設け、職員が子供への適切な支援のための学びをする環境を設定する 	
主な行事等		夏まつり、クリスマス会、季節に合った遠足、参観など							